

## 第36期第14回常任理事会議事録

日 時：2011年10月18日（火）13時30分～17時15分

会 場：日本気象学会事務局（気象庁 8 階）

出席者：新野、藤谷、経田、近藤、徳廣、中島、  
中村、藤部、三上、以上 9 名（常任理事現在  
数13名）

欠席者：岩崎、佐藤、田中、余田、以上 4 名

その他の出席者：田沢、萩原、渡辺（事務局）

### 議 事

1. 第36期第13回常任理事会議事録の確認
2. 第36期第 7 回理事会議事録の確認
3. 会員の新規加入等について  
新入会員 3，退会 24 を全会一致で承認。2011年10月17日現在、会員数 3,825 名で通常会員は 1,071 名。
4. 第36期第 8 回理事会について  
標記の議題内容について検討した。公益社団法人への移行作業を継続性を持って円滑に進めるため、来年度の事務局体制を今年度と同じにすることを提案する。
5. 2011年度秋季大会表彰式及び記念講演について  
標記について、当日の進行を確認した。
6. 今後の日本・中国・韓国気象学会共催国際会議のあり方について  
会議の運営が開催国にとって負担となりつつある現状を確認し、AOGS (Asia Oceania Geoscience Society) の特別セッションの一つとして開催することを一案として負担の軽減と魅力ある会議とするための方策について検討した。
7. 各委員会からの報告  
庶務…

#### 1) 転載許可

①申請者：環境省水・大気環境局大気環境課  
転載元：SOLA, Vol.7 A (2011) の論文12編  
転載先：日中韓三か国環境大臣会合黄砂共同研究の成果集「Proceedings of Working Group I for Joint Research on Dust and Sandstorms in North-east Asia」

#### 2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第16回「震災対策技術展」  
主催：「震災対策技術展」実行委員会  
期日：2012年 2 月 2 ～ 3 日  
場所：横浜国際会議場

名義：後援

- 3) 東北地方太平洋沖地震被災会員の年会費の免除申請について

・ 9 月 5 日：宮城県仙台市の会員 1 名から申請があった（合計 4 名となる）。

- 4) その他

・ 9 月 28 日：島津賞の推薦書を送る。

・ 10 月 7 日：全国公益法人協会における公益法人移行相談会（岸本弁護士、藤谷、事務局）。

会計…2011年 9 月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol.58 No.10 (2011年10月号) の掲載記事と、Vol.58 No.11 (2011年11月号) と Vol.58 No.12 (2011年12月号) の予定記事の報告。

気象研究ノート…第223号の発刊と第224号「都市の気象と気候」が校正段階であることの報告。

・ 過去発行分の PDF 化作業の進捗状況の報告。

SOLA…投稿論文の処理の進捗及び新しい投稿一査読システムでの投稿受付を問題なく行えていることが報告された。

・ 投稿料免除について、気象集誌と合わせて投稿規定で明示することを確認した。

講演企画…2011年度秋季大会の準備状況の報告。春季大会予稿集落丁を踏まえて強化した予稿集校正の段階で、業者確認不足によるミスが発覚し、次回に向けた対策を検討中であることの報告。

・ 2012年度春季大会の準備状況の報告。シンポジウム企画内容について議論した。

・ 京都大学生存圏研究所による日本地球惑星科学連合2012年度連合大会への赤道大気レーダーに関する特別セッション提案について、共催することを承認した。

総合計画…公益社団法人移行に伴う新定款案・新細則案の報告。事前に内容等について全理事に照会し、来月開催予定の全国理事会で了承後、会員からのご意見を募る予定。

・ 損害賠償請求訴訟について判決が確定したことの報告。これまでの経緯等の概略を常任理事会名で「天気」に掲載し、会員への報告とすることを承認。

教育と普及…次回のサイエンスカフェの実施予定に

ついて報告された。

地球環境…日本地球惑星科学連合2012年度連合大会にて、福島第一原子力発電所の事故関連のセッションが設けられる見通しと報告。

気象災害…台風12号、15号に関する研究会を、秋季大会前日に開催することで準備中。

#### 8. リクルートブースについて

2011年度春季大会にて、参加企業5社、約28名の学生が来場した。継続的な取り組みとするための体制作りについて議論し、当面は担当理事、公益法人移行に伴う細則にて担当委員会を置くことを確認し

た。

#### 9. 企業からの賛助金の募集に関する気象学会への提案

企業からの賛助金募集の一本化に向けた方策について検討した。

平成23年11月16日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 徳廣 貴之